

「学び」の環境がここにあります

創立122年、この伝統ある為桜学園で一緒に学びましょう

学校沿革

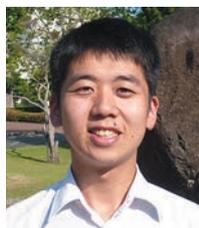
- 明治30年4月 ● 茨城県尋常中学校下妻分校
- 33年4月 ● 茨城県下妻中学校
- 昭和23年4月 ● 茨城県立下妻高等学校
- 24年4月 ● 茨城県立下妻第一高等学校
- 平成 9年4月 ● 創立百周年
- 29年4月 ● 創立百二十周年



2022年度より併設型中高一貫教育校
(併設中学校1学級)になります

文武不岐 ～人間力を磨く～

本校は、学習と部活動との両立を積極的に推奨しています。高校時代は何でも吸収できる感受性豊かな時期です。友と一緒に目標に向かって取り組む経験を通して、達成感や感動を味わうとともに、忍耐力や協調性などの人間力を磨きましょう。



生徒会長 3年 齊藤 龍斗 (関城中学校出身)

本校に入学を希望される皆さんへ

我が下妻一高は別名(愛称)をもっているのを皆さんはご存じでしょうか。それは「為桜学園」です。下妻一高では至る所に「為桜」という名前が刻まれています。例えば、「為桜の丘」という生徒会の歌があります。水海道一高との運動部対抗戦(定期戦)や野球応援で勝利した時に肩を組みながら皆で歌います。ちなみに、今年度下妻一高は定期戦に勝利して史上初の10連勝を達成することができました。

下妻一高は勉学においても他校にひけをとりません。完全自習スペースのある学習館などの施設はもちろん、生徒一人一人に真剣に向かい合ってください先生方も多くいらっしゃいます。このような環境が私たちの進路実現を可能としています。

2017年に120周年を迎え、良い方向へ、新しい方向へと変革しつつある下妻一高で、たった一度の高校生活を送ってみませんか。在校生一同、皆様のご入学を心よりお待ちしております。

【為桜学園】



(上記マークは中村不折作)

『為桜学園の名は学園の春を飾る桜花にちなみ、藤田東湖作「文天祥正気の歌に和す」の一節「発いては万朶の桜と為る」よりとられたもので、本校草創期の理念として明治34年に体育会を為桜会と命名して以来、脈々と本校に継承されてきました。本校の桜も、老木の数こそめっきり少なくなりましたが、爛漫、その清潔の品、花王の格は古くから本校の象徴とするところであり、「為桜」は衆芳を抜かんとする生徒の心意気「為桜魂」を示すものです。

左のマークは、明治39年、長塚節の紹介で、洋画家・書家として知られる中村不折が作図したもので、現在も本校のシンボルマークとして広く使用されています。(「為桜」を囲んで「不二の嶽」「大瀧の水」「万朶の桜」が「百鍊の鉄」の刀の鏢の中に見事に配されています。)

